施策体系コード 3-1-1 事業名 はつらつシニアサポート事業(高齢者地域貢献支援事業) 担当 保健福祉局保健福祉部高齢福祉課 三好・佐藤 ℡ 211-2976 体 画 全 計 札幌市の高齢者人口は約35万人、このうち元気な高齢者は約 <年 度 別 の 事 業 内 容> 8割の27万人で、今後さらに増加が見込まれており、実りある生き (平成19年度)シニアチャレンジ事業・シニアサロンモデル事業 がい対策が求められている。そこで、はつらつシニアサポート事 (平成20年度)シニアチャレンジ事業・シニアサロンモデル事業・ 業は、高齢者の地域貢献に結びつけるきっかけとなるような生き シニアサロンフォローアップ事業 がい活動で、高齢者団体等の自主的な運営により実施される事 (平成21年度)シニアチャレンジ事業・シニアサロンモデル事業・ 業に対して支援を行う。 シニアサロンフォローアップ事業 シニアチャレンジ事業は、高齢者団体による集客交流、子育て (平成22年度)シニアチャレンジ事業・シニアサロンモデル事業・ 支援、介護予防、安全・安心、環境保全など地域貢献に係る先 シニアサロンフォローアップ事業 駆的な取り組みに対し、経費の一部を補助する。 シニアサロンモデル事業は、高齢者団体が自主的に運営し、高 齢者の居場所、活動の拠点として、様々な生きがい活動、情報交 換、地域貢献活動などの先駆的な生きがい活動を行うサロンに 対し、経費の一部を補助するものである。 また、シニアサロンフォローアップ事業は、本市から3年補助を 受け、シニアサロンモデル事業を実施した団体に対して、シニア サロンを継続することを前提に、地域貢献活動に係わる経費につ いて支援するものである。 平成19年度事業内容(決算) 平成20年度事業内容 (決算) シニアチャレンジ事業(3団体) シニアチャレンジ事業(4団体) 事 ①高齢者全員集合・身体を動かし声を出そう・(ふくろうの会) ①高齢者全員集合-身体を動かし声を出そう-(ふくろうの会) ②よろず相談事業-町内花いっぱい運動-(新陽元気塾) ②めざせ!はつらつシニア隊(新陽元気塾) ③笑って聴いて考えよう!西区のエコライフ(西区ときわ大学継 ③地域コミュニティ交流促進事業(地域コミュニティ交流促進実 業 行委員会) 続学級運営委員会) シニアサロンモデル事業(新規4カ所) ④手稲本町パソコン友の会(手稲本町パソコン友の会) ①シルバーシニアサロン(清田区真栄) シニアサロンモデル事業(新規1カ所) 内 ②シニアサロン緑の里(南区藤野) ①りんごの家中央サロン(中央区南15西8) シニアサロンモデル事業(継続6カ所) ③なごやかサロン(西区二十四軒) 容 ④シニアサロンつくし(手稲区西宮の沢) ①シニアサロンさくらんぼ(北区麻生) シニアサロンモデル事業(継続6カ所) ②北野まきばサロン(清田区北野) ①サロンこのはな(豊平区平岸) ③澄川コスモスの丘(南区澄川) ②小さな憩いの森ブーケ(清田区真栄) ④シルバーシニアサロン(清田区真栄) ③はっさむいきいきサロン(西区発寒) ⑤シニアサロン緑の里(南区藤野) ④シニアサロンさくらんぼ(北区麻生) ⑥シニアサロンつくし(手稲区西宮の沢) 量 ⑤北野まきばサロン(清田区北野) シニアサロン地域貢献支援事業(1カ所) ⑥澄川コスモスの丘(南区澄川) ①サロンこのはな(豊平区平岸) シニアはつらつセミナー(3月24日開催) シニア世代が社会参加、地域貢献活動に取り組むきっかけをつ くるとともに、それにかかわる知識の向上を図ることを目的にセミ ナーを開催 場 ※シニアサロンフォローアップ事業は、20年度からシニアサロン地 域貢献支援事業として事業を開始している。 所 平成21年度事業内容(決算) 平成22年度事業内容(予算) シニアチャレンジ事業(1団体) シニアチャレンジ事業 シニアサロンモデル事業(新規) ①高齢者全員集合-身体を動かし声を出そう-(ふくろうの会) シニアサロンモデル事業(新規1ヵ所) シニアサロンモデル事業(継続2ヵ所) ①地域交流サロンくるみな(南区南34西11) ①りんごの家中央サロン(中央区南15西8) シニアサロンモデル事業(継続4ヵ所) ②地域交流サロンくるみな(南区南34西11) 規 ①シルバーシニアサロン(清田区真栄) シニアサロン地域貢献支援事業(5ヵ所) ②シニアサロン緑の里(南区藤野) ①サロンこのはな(豊平区平岸) ②シニアサロンさくらんぼ(北区麻生) ③シニアサロンつくし(手稲区西宮の沢) 模 ④りんごの家中央サロン(中央区南15西8) その他、最大3団体を支援予定 シニアサロン地域貢献支援事業(2ヵ所) ①サロンこのはな(豊平区平岸) ②シニアサロンさくらんぼ(北区麻牛) 件 数 筡

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード 3-1-1 事	事業名はつ	らつシニア	プサポート事	葉(高齢者	地域貢献	支援事業)					
達成目標の状況											
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)					
シニアサロンモデル事業設置数(累計)	6カ所	10カ所	11カ所	10カ所	12カ所	20カ所					
シニアチャレンジ事業実施団体数(累計)	8団体	11団体	15団体	16団体	20団体	50団体					

市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)

■市民との連携、市民参加

高齢者団体による生きがい活動、地域貢献活動等を支援することにより、高齢者自らによる生きがいづくり・まちづくりの促進を図ってい

■企業等との連携・協働

[資金協力] (該当なし)

[人材協力]高齢者が地域貢献活動等を行うにあたり、高齢者の持つ豊かな知識や経験が、貴重なマンパワーとして福祉のまちづくりに 大きく役立っている。

[情報協力]本市及び各団体のホームページ、各団体の情報誌などの情報発信により、高齢者が自ら地域貢献活動に取り組むことに対 する理解の促進が期待できる。

[その他の協力] (該当なし)

■市民・企業等が参加しやすい環境づくり

高齢者の方々がグループをつくり、様々な生きがい活動や情報交換、地域貢献活動などを行うシニアサロン、先駆的な地域貢献活動に 取り組むシニアチャレンジは、多くの高齢者が参加できる仕組みとなっている。

評 価 (成果)

高齢者の方々は、これからの高齢社会そのものを支えていく貴重 なマンパワーであると認識し、生きがいを持って積極的に社会参加 することは、大変重要である。特に、団塊世代の方々が、趣味や生 方面でその豊かな知識や経験をいかした地域貢献活動に取り組む ことは今後の福祉のまちづくりに欠かせないものだといえる。

本事業は、平成17年度から実施しているが、これまで、サロンを設 置し、様々な生きがい活動や情報交換、地域貢献活動など高齢者 のための拠点づくりを進めるとともに、高齢者の取り組む地域の環境 保全活動などの先駆的な地域貢献活動に対し支援しており、高齢 者の社会参加や自主的な地域貢献活動の促進を図っている。

課 題

はつらつシニアサポート事業は、これまで、サロン事業やひとり暮ら し高齢者の訪問などのチャレンジ事業など多様な事業展開を行って いるが、今後は、さらに、自立的な事業運営を働きかけるとともに、地 きがいづくりにとどまらず、今後、地域の防災や子育て支援などの多地住民や関係団体との連携を一層高め、より広がりある活動を通じ て、住民が相互に支え合う「地域福祉力」の充実を図っていきたいと 考えている。

なお、申請件数等が近年伸び悩んできている。この事業は高齢者 の自主的な活動を支援する事業であるが、事業の企画・立案から経 理事務等まで全て行わなければならず、かなりの負担となっていると 思われる。一方、補助金の支出に当たっては相当の事業内容や透 明な会計の確保は当然必要であり、補助申請等にあたって、どのよ うなサポート体制を整備するか、現在検討しているところである。

後 事業の予定・方向

団塊の世代の退職による影響などもあり、元気高齢者がますます増加することが予想されることから、高齢者の居場所づくり、高齢者が 取り組む地域貢献活動への支援については、引き続き実施する必要がある。

平成22年度の予定については、シニアチャレンジ事業として4団体の活動を支援し、シニアサロンモデル事業としてサロンを2か所増設 していくこととする。

また、シニアサロン地域貢献活動支援事業として、最大5か所のサロンの支援を行うこととする。

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3)_(単位:千円)

施策体系コード 3-1-1 事業名 はつらつシニアサポート事業(高齢者地域貢献支援事業)									
事業費の推移									
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計			
計画	事	業	費	33,070	32,570	34,070	32,290	132,000	
	財国		支 出 金	0	0	0	0	0	
	源市		債	0	0	0	0	0	
	内そ		1	0	0	0	0	0	
	訳一	般	財 源	33,070	32,570	34,070	32,290	132,000	
予算	事	業	費	33,070	32,570	22,877	9,932	98,449	
	財国		支 出 金	0	0	0	0	0	
	源市	Ì	債	0	0	0	0	0	
	内そ		10	0	0	0	0	0	
	訳一	般	財 源	33,070	32,570	22,877	9,932	98,449	
実 績	事	業	費	13,487	8,287	5,609	_	27,383	
	財国		支 出 金	0	0	0		0	
	源市	Ì	債	0	0	0		0	
	内そ		.—	0	0	0	-	0	
	訳一	般	財 源	13,487	8,287	5,609		27,383	
事	事 業 費 の 進 捗 率 (H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費)/(計画事業費) 28.3%								
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)									

《全体》

シニアサロンフォローアップ事業は、20年度からシニアサロン地域貢献支援事業として事業を開始している。

[19年度]

シニアチャレンジ事業の応募団体が少なかったことなどから、計画及び予算額との差異が生じた。

[20年度]

シニアチャレンジ事業、シニアサロンモデル事業、シニアサロン地域貢献支援事業とも当初の見込みより応募が少なかったことから、計画と予算額との差異が生じた。また、シニアサロンモデル事業について、4年目以降補助金の交付が終了した後も、継続して自主運営が可能な事業費の設定に見直し、補助上限額を変更した。

[21年度]

シニアチャレンジ事業、シニアサロンモデル事業、シニアサロン地域貢献支援事業とも当初の見込みより応募が少なかったことから、計画・予算額と実績額に差異が生じた。

[22年度]